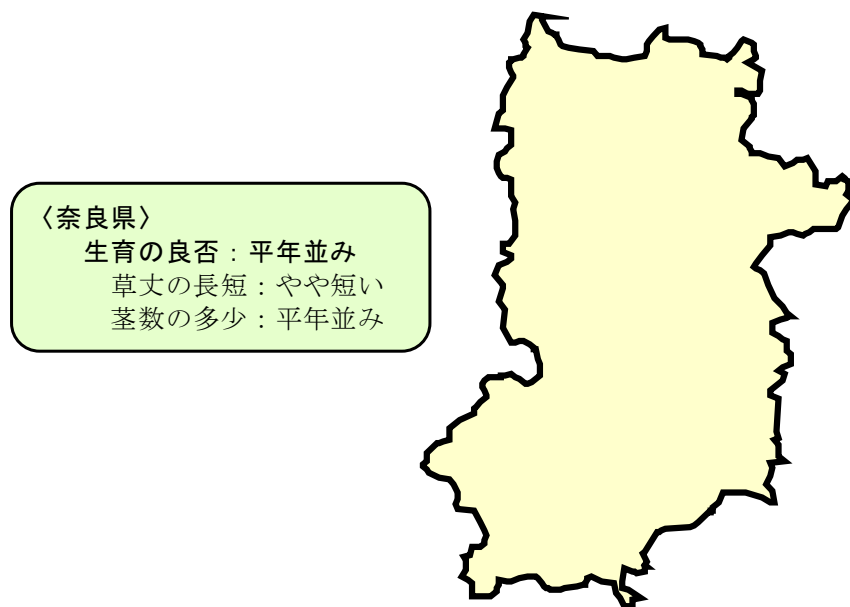


平成30年産水稻の8月15日現在における生育状況（奈良県）

－ 生育は「平年並み」 －

- 1 田植最盛期は、苗が順調に生育し、用水も確保されたことから「平年並み」となった。
- 2 田植期以降、6月中旬は気温・日照時間ともに平年を下回ったものの、全般的には高温・多照で経過したことから、茎数は「平年並み」となり、草丈は「やや短い」となった。
このことから、生育は「平年並み」で推移している。
- 3 出穂済面積割合は、30%で「平年並み」となった。
- 4 被害は、スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）による食害や山間部でのシカ及びイノシシによる獣害等がみられる。

図 奈良県の生育状況（8月15日現在）



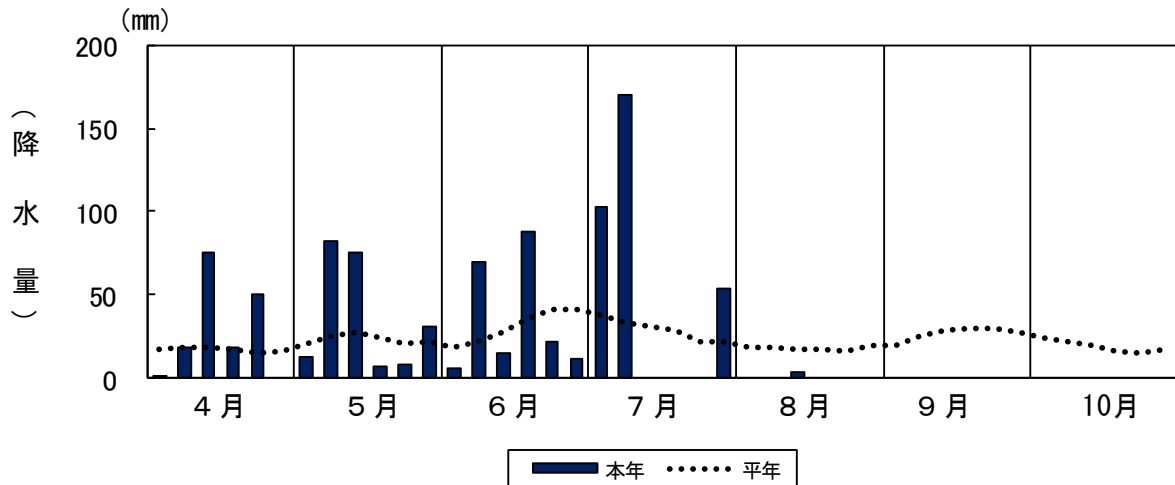
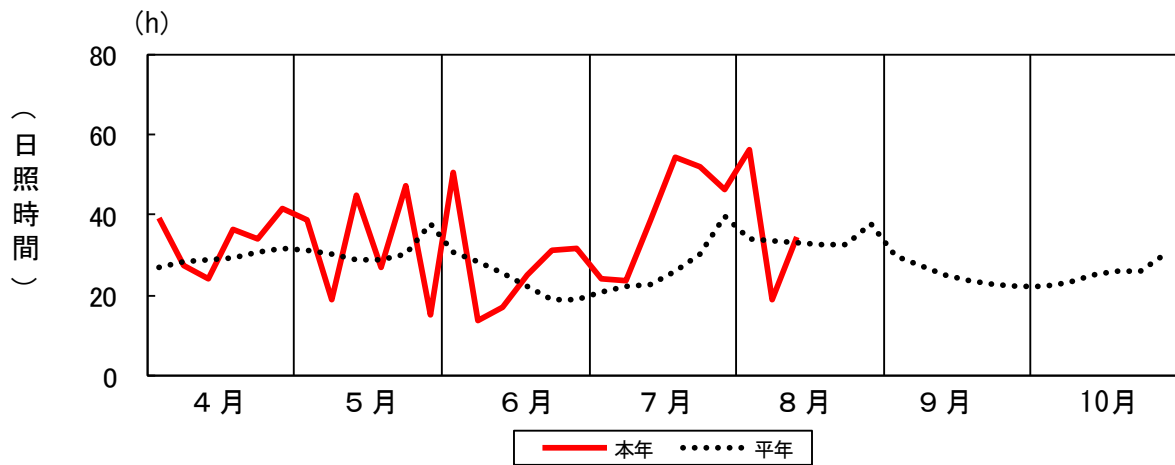
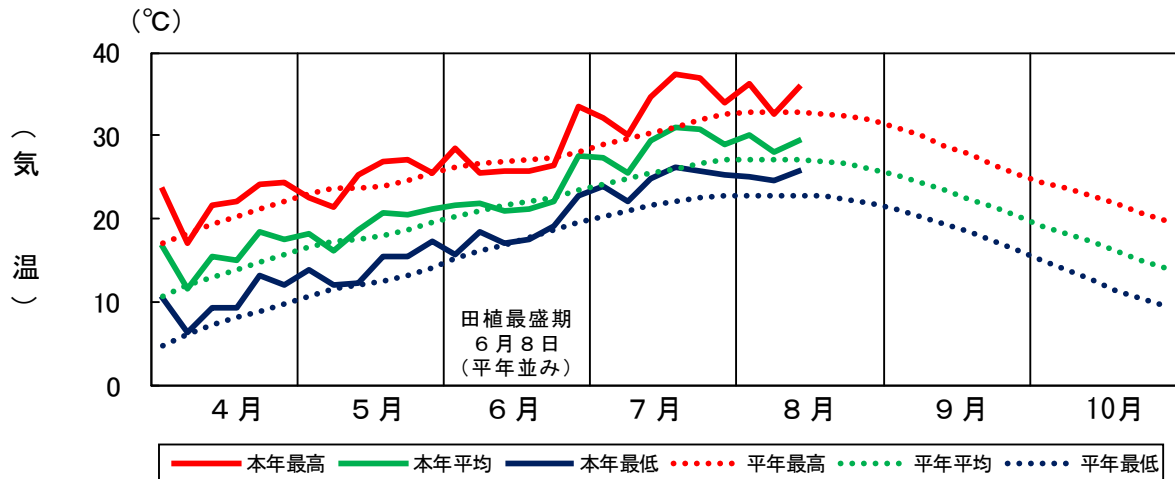
- 本調査の生育状況は、草丈の長短、茎数の多少等の計測結果、生育の遅速、被害の発生状況等を総合して、8月15日現在における稲体の生育状態を調査したもので、作柄を予測したものではない。
- この資料は、「平成30年産水稻の8月15日現在における作柄概況及び生育状況（近畿）」（平成30年8月31日公表）の補足資料として作成したものである。

本資料は、近畿農政局ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/kinki/toukei/toukeikikaku/yotei/2018.html> 】

【参考】

奈良県（奈良市）の気象



資料：気象庁『アメダスデータ』

注：田植期の最盛期は、県平均の期日である。

なお、()は、対平年差である。

【お問合せ先】

近畿農政局 奈良県拠点 統計チーム

電話：(代表) 0742-32-1870 内線 438

(直通) 0742-36-2988

FAX：0742-36-2985